

地域医療構想と介護保険で「地域包括ケア」は可能か!?11月20日にシンポジウムを開催、ぜひご参加を!

大阪社保協では今年の1月から「介護保険抜本見直し検討会議」を立ち上げ議論を重ねています。

介護保険は、「川上から川下」、つまり、病院から患者を退院させ地域にもどし、そこで在宅看護・介護をする受け皿として介護保険を位置付けられており、「地域包括ケアシステム」とは地域で24時間365日、重度者でも在宅で生活できるようなシステムとされています。

大阪社保協「介護保険抜本見直し検討会議」では、8月に大阪府内全病院・全老人保健施設入所者退所者動向調査を行いました。この調査から見えてきた結果を分析しながら、地域の医療と介護の実態から国の進める医療再編・介護改革の問題点を明らかにし、国民の側からどう考えるかを議論するシンポジウムを開催することとしました。以下企画概要です。

11.20 シンポジウム企画・概要

☆テーマ 「地域医療構想と介護保険で『地域包括ケア』は可能か～高齢者の尊厳を守るために」

☆主催 大阪社会保障推進協議会

☆日時・場所 11月20日(日)午後1:30～5:00/会場 大阪民医連会議室

☆企画案

- 1時30分 主催者あいさつ 井上賢二 大阪社保協会長
- 1時35分 ①家族から訴える 報告者 雨田信幸さん
- 1時50分 ②病院・老健アンケート(入院・入所前、退院・退所後)の報告
報告者(鴻上圭太さん・北垣智基さん いずれも健康福祉短期大学講師)
- 2時20分 ③問題提起 「地域包括ケアと地域医療構想 高齢者の尊厳は守れるか」
佛敎大学 岡崎祐司教授 (50分)
- 3時10分 休憩(10分)
- 3時20分 ④シンポジウム コーディネーター(岡崎祐司教授)
15分×3人 45分
- ・病院から 上山病院地域連携室 MSW 江坂竜二さん(退院の実態と問題点)
 - ・老健から よどの里支援相談員社会福祉士森部登美子さん(入所経路、対処に向けての苦労など)
 - ・地域医療から 入谷医院医師 入谷純光さん(開業医の実態と在宅医療)
- 4時05分 シンポジスト 二順め発言 5分×3人=15分
- ※会場発言
- 4時40分 ⑤まとめ 大阪民医連 土居事務局長
⑥アピール提案 採択
- 5時00分 終了

介護なんでも無料電話相談

06-6262-8041

(当日のみの電話番号です)

11月14日(月) 10時～17時

☆要支援だと今まで通りのサービスはつかえないと言われた!

☆利用料がものすごく高くなった!とても払えない!!

☆介護サービス事業所で働いているけど給料が下がった!

☆来年からは要介護1や2でもサービス使えないって本当?

・・・などなど介護に関わることならなんでもご相談ください。



主催 大阪社会保障推進協議会

おおさかヘルパー労組連絡会

連絡先 大阪社会保障推進協議会(大阪社保協)

Tel 06-6354-8662/Fax06-6357-0846

osakasha@poppy.ocn.ne.jp

もしも家族が倒れたら…

病院は長期入院できない…施設もない…お金もない…でも在宅で見る自信もない…



高齢者問題は身近な問題です。

患者家族の切実な声、受け皿になる病院・施設の実態、地域医療を担う医師の実情を実際に聞いて考えよう

地域医療構想と介護保険で「地域包括ケア」は可能か



高齢者の尊厳を守るために

2025年に向けて医療・介護の一体改革が進行しています。地域の医療と介護の実態から、国の進める医療再編と介護保険の問題点を明らかにし、患者、家族、市民の視点で、人間の尊厳を守るために本来あるべき医療と介護を考えます。



2016年 11月20日(日) 午後1時30分~5時

大阪民医連会議室 (定員150人)

参加費 / 1,000円

問題提起

地域包括ケアと地域医療構想
高齢者の尊厳はまもれるか

佛教大学教授・岡崎祐司先生



シンポジウム = 高齢者の尊厳を守るために皆で考えよう

親の介護をする家族から、病院の医療ソーシャルワーカー、老健施設の相談員、地域の開業医の方から現場の実情を報告いただき、参加者と一緒に討論します。



主催 / 大阪社会保障推進協議会 Tel.06-6354-8662 fax06-6357-0846

参加申込 FAX:06-6357-0846

シンポジウムに参加します

所属団体・医療機関・施設名

所在地 (市・町・村)

ふりがな

お名前

連絡先 Tel